

電解次亜塩素酸水を利用した バラ灰色かび病の防除

キーワード 電解水, 野菜花卉類, 病害防除

3 すべての人に
健康と福祉を



12 つくる責任
つかう責任



■ 研究概要

電解次亜塩素酸水（電解水）は菌類や細菌などの病原体に対して殺菌力が強く、かつ、処理後はすぐに失活する特性を持っています。殺菌力は強くても安全性は高いことから、食品や医療など多くの分野で古くから利用されてきました。

この研究は、バラの切り花を対象にして収穫後の保管・流通時に発生する灰色かび病の防除を目的に電解水を気化して処理するシステムを考え検討しています。

電解水を気化して処理するのが特徴で、栽培中の作物や収穫物は濡らさずにできます。一般に濡れた状態が続くと微生物が再繁殖するので望まれません。また、処理後は乾燥する手間や時間も要しません。さらに、電解水の効力もすぐ低下するので安全性が高いと期待できます。

灰色かび病は多くの作物種に発生します。また、収穫前の栽培期間中も発生します。こうしたことから、この研究は花卉全般や野菜類全般の作物生産にも活用することを目指しています。



無処理

気化処理

■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 花卉、野菜類全般の収穫物の鮮度保持に関する研究

長谷 修 教授 HASE, Shu

専門分野：植物病理学

E-mail : s.hase@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

